

一般財団法人神戸すまいまちづくり公社  
平成 28 年度第 2 回評議員会会議録

1. 開催日時

平成 28 年 6 月 24 日（金）午後 3 時から午後 4 時 5 分まで

2. 会 場

サンパル 5 階 当公社会議室

3. 評議員現在数及び定足数並びに出席評議員数及びその氏名

評議員現在数 3 名 定足数 2 名

出席評議員数 3 名

出席した評議員の氏名 加登 豊、安田 義秀、岩橋 哲哉

4. 出席監事の氏名

監事 石丸 鐵太郎、監事 岩崎 和文

5. 出席理事の役職及び氏名

理事長 石井 陽一、専務理事 中塚 弘明、常務理事 安田 丑作

理事 井澤 元博

6. 議長兼議事録作成者の氏名

加登 豊

7. 評議員会の議事の経過の要領及びその結果

(1) 定足数の確認

(2) 議長の選出

(3) 決議事項

①第 1 号議案 定款変更について

意見については、別紙 1 のとおりである。

②第 2 号議案 評議員 5 名の選任について

③第 3 号議案 理事 1 1 名の選任について

④第 4 号議案 監事 2 名の選任について

(4) 報告事項

①平成 27 年度事業報告及び決算について  
意見については別紙 2 のとおりである。

②公益目的支出計画実施報告書について

(5) その他

その他の意見については、別紙 3 のとおりである。

(6) 閉 会

以上をもって議案の審議等を終了したので、午後 4 時 5 分に議長は閉会を宣し、解散した。

第 1 号議案に対する意見

<責任の一部免除又は限定の規定について>

評議員：

- ・民間企業の場合、社外取締役は執行責任が無いが、社内取締役を監督する役割を通じて、経営を担っているので、その範囲で賠償責任を負うというのが通常の見方である。公社だから状況が変わるとは言えないのではないかと。
- ・責任限定の規定があるほうが、人材確保の面で外部の方々に非業務執行理事を引き受けてもらいやすい状況は分かるが、民間企業のように、外部の方の賠償責任を保険で担保することも検討できないか。引き続き理事会でもご議論いただきたい。

理事長：

- ・理事会は業務執行理事に対するチェック機関でもあり、外部理事の専門分野での意見を業務に活かしていく場でもあると考えている。非業務執行理事には少ない報酬で就任いただいているが、各専門分野からの忌憚のない貴重なご意見を業務にしっかりと反映させていくことも、公社の経営にとって重要である。

評議員：

- ・理事を引き受ける方には、報酬額に関わらず、公社事業に対して高い意識を持って、関与してもらいたい。

報告事項①に対する意見

< K I B C 運営事業について >

評議員：

- ・ K I B C の外壁補修を追加で行った理由は。

総務部長：

- ・ 北館の外壁補修工事で足場を組むので、南館の外壁についても、前倒しで一度に補修工事を実施するほうが効率的ではないかということで行った。

< ゴルフ場運営事業について >

評議員：

- ・ ゴルフ場の来場者数が減っているとのことだが、北神戸ゴルフ場は今年開業 50 周年ということであり、何か工夫をするチャンスである。特に女性のリピーターを取り込む方策を考えてほしい。女性がゴルフ場を選ぶ際には、食事とアメニティを重要視すると聞いたことがある。女性は口コミの情報を重視するので、良い評判が立つと広がるのも早い。

理事長

- ・ 公社でも女性をターゲットに考えており、北神戸ゴルフ場では、女性用の浴場やトイレ等の改修を行った。

評議員：

- ・ 例えば、公営のゴルフ場のランキングの作成を呼び掛けて、常に上位に位置することになれば、それだけで来場者がすぐに増えると思う。また、神戸は良いイメージがあるので、ゴルフ場が素晴らしいということになれば、ゴルフ以外のことも加えて宿泊・前泊をしてもらえるのではないかと。小さなことでも積み重なると経済効果があると思う。様々な取組みを検討してもらいたい。

その他の意見

評議員：

- ・イギリスのEU離脱が決まり、株式市場や為替市場が大きく動いている。ただ国民投票を行うことは前から決まっており、離脱の可能性も予想しておかないといけなかった。公社の活動は、直接的には世界情勢と関係ないかもしれないが、波及効果も含めて、何が起こるか分からない状況である。予測できることがあれば、予算等において臨機応変に対応してもらいたい。先取りをして失敗することはほとんどないので、結果的にはよい方向に落ち着くと思う。
- ・神戸市の職員はまず公社に出向して学ぶべきだと言われるような職場づくりをしてもらいたい。市からは優秀な人に公社に来てもらって活躍してもらい、公社で働いたことが市に戻ったときに役立つといったことが循環すれば、両者にとって極めて良いことだと思う。公社職員の表情が以前と比べると明るくなった印象である。良い方向で進んでいると思うが、引き続き自然に笑顔が出てくるような職場づくりにぜひ取り組んでももらいたい。